

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	都市計画課長	館下 優三
まち-03 都市計画運営事務	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	都市計画課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針
			市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市全域の土地利用・まちなみ
意図	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。
効果	まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等の手続を行った。
 ・都市計画関連情報を更新し、都市計画図等の印刷を行った。
 ・都市マスタープランの見直し作業を行った。
 ・県下一斉に実施される市街化区域及び市街化調整区域の見直し作業を行った。
 ・都市計画業務支援システム用機器のリースを行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人口等のデータ			人口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
人口	177,464人	177,243人	世帯数	80,928世帯	
世帯数	80,368世帯	80,676世帯	事業の対象者数		
事業の対象者数					
運営資源状況			当初予算(千円)	20,107	
決算値(千円)	33,721	26,573	国県支出金	4,825	
国県支出金		283	地方債		
地方債			その他	400	
その他	275	252	一般財源	14,882	
一般財源	33,446	26,038	人員配置数	6.0	
人員配置数	5.9	6.0	人件費(千円)	47,188	
人件費(千円)	45,633	46,222			
事業経費運営			総事業費(千円)	67,295	
総事業費(千円)	79,354	72,795	市民1人当りの経費(円)	380	
市民1人当りの経費(円)	447	411	対象者1人当りの経費(円)		
対象者1人当りの経費(円)					

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 市民及び関係機関（NPO団体を含む。）
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・概ね5年ごとに行う定期的な業務を実施する年度は、一時的に予算規模が膨らむが、今後も引き続き現在の予算規模を維持しながら、通常業務である都市計画変更等の手続や都市マスタープランの運用業務などを行っていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等の手続は、都市計画法に基づいた法定手続であり、削減の余地はなく、関連・類似事業との統合はできない。 ・都市計画は市民生活に直結し影響が大きいことから、公聴会の開催や意見書の提出機会を設けるなど、市民意見を計画に反映する必要があることから、今後も市が実施する必要がある。また、都市マスタープランはまちづくり部門の施策展開への貢献度は大きい。 ・都市計画図の販売・都市計画支援システムの活用により、問い合わせ等に迅速に対応している。 ・都市マスタープランは、当初(平成10年)から市民協働により策定しており、見直しについても市民協働により実施している。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・都市計画道路の見直しについて、関係機関との協議が課題となっている。 ・都市計画道路見直し方針の一部分を都市マスタープランの見直しの中で検討することになっており、その結果を受けて関係機関協議を始めるため時間が掛かることが課題である。 ・都市マスタープラン見直し作業の中で市民・学識経験者等と協働して検討を行っているが、災害(津波)の新たな情報等が出てきており、検討項目の再検討等が必要となるため期間が短いことが課題である。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	・都市計画道路変更手続の開始に向け、関係機関との事前協議を進めた。 ・道路ネットワークの観点から検討する必要がある、都市マスタープランの見直し作業の中で行っていた由比ガ浜関谷線の保留区間に対する検証の結果、必要性が高い路線であると認識し、ルート・構造形式等について計画の変更を検討するとの整理を行った。 ・都市マスタープランの見直し作業は、平成27年9月に内容を確定した。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・都市計画道路の見直しについて、関係機関との協議が課題となっている。 ・関連する用途地域、防火・準防火地域、風致地区等の都市計画変更が伴うため、同時に進めていく必要がある。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---